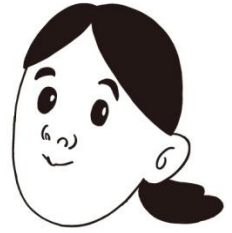


みずま雪絵の 区議会レポート

NO. 7



〒125-0063 葛飾区白鳥3-25-7 コーポ坂上302

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP <http://mizuma-yukie.org>

違憲法案成立へ突き進む暴走にストップを

葛飾区議会第2回定例会で「国民的合意のないままに、安全保障関連法案の改正を行わないよう求める意見書」の提出を求める請願が賛成少数で不採択となりました。

安全保障関連法案(戦争法案)は、7/16 衆院本会議で与党多数で通過しました。連日、国会前では「日本を戦争ができる国にするな」「法案を廃案に」と市民が声を上げています。現政府が進める低賃金・不安定雇用の増大に繋がる労働法制の改悪や、奨学金問題ということも鑑みても、経済的徴兵制に繋がる可能性はあると思います。日本の貧困率は増加の一途を辿り、子どもの貧困率は先進諸国の中でも最低レベルにあります。安倍首相は「国民の生命、くらしを守る」とくりかえしますが、社会保障改悪、増税等やっていることは正反対です。

自民党は経団連から多額の献金を受けています。経団連が求める武器輸出、原発再稼働・輸出、ホワイトカラーエグゼンプション等の施策を推し進めています。今の政府与党は一部の利権の為に、国民の命と生活を脅かす政権運営になってしまっているのではないのでしょうか。

9.11の通り、テロは軍隊では防げません。この戦争法案は違憲であり、多くの国民にとって命を危険にさらすものだと思います。世論を無視し、法案成立へ突き進む政権の暴走をストップさせなければなりません。



みずま雪絵

第2回定例会一般質問

①共通番号制度について

区の共通番号制度の、情報漏洩の危険性についての、見解、認識について 他1問

区の答弁内容「徹底した特定個人情報保護が重要。専用回線を使い特定秘密情報が送受信され、高度複雑化するサイバー攻撃に備えた高いセキュリティー対策がされる。また特定個人情報保護評価制度の運用や、共通番号制度の中で情報を扱う職員に守秘義務を課して、国と同等の厳格な情報漏洩を防ぐ仕組みが構築される。」

②放射線対策事業について

今年度以降の放射線対策事業の取り組みについて 他1問

区の答弁内容「区内の空間放射線量は事故前の水準に戻りつつある。調理済み給食の放射性物質の検出は今後も考えづらい。区民からの問い合わせも減ってきており、区民の不安感は低下してきている。次年度以降は、費用対効果・風評被害からの脱却も視野に入れ、継続・見直しを見極める。内部被曝検査の助成は考えていない」

③介護人材の確保について

介護人材の確保について、区が取り組むべきことをどのように考えるか

区の答弁内容「介護サービス事業者合同説明会、就職支援講座、スキルアップ研修等を充実させる。処遇改善加算の効果、現場の実状を踏まえ、賃金や労働環境の改善を国や東京都に要望していく」

今回は、三点について一般質問をしました。共通番号制度については、徹底した特定個人情報保護が重要と考えるというものでした。意図して、情報を盗もうとする存在は数多く存在しますし、人的ミスや漏洩リスクは付きまとうもので、情報漏洩はセキュリティーを高くすることで、絶対に防げるというものではないと思います。

放射線対策事業については、基本的に区は、福島第一原発事故由来の放射線被害は風評であるという見解を持っていることが分かる答弁でした。放射線対策事業は放射線被ばくによる健康被害が不明な点が多いからこそおこなう必要があると思います。前提に風評被害という見識を持つことは、改めるべきと思います。

介護人材確保が困難なことについての問題は、制度自体の問題によるものや不安定・低賃金雇用の増大等の労働問題も、これらの背景になっていることは言うまでもありません。区の言っているような公の場で、現場で働く人の「本音」が出てくることは、難しいと思います。どのように実状を把握するのが、重要だと思います。

賛否の分かれた議案	自民	公明	共産	政鸞	民主	うめた	小林	みずま	村松
平成27年度葛飾区一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○
葛飾区個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区特別区税条例等の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区水元体育館及び葛飾区小菅西公園フットサル場の指定管理者の指定について	○	○	×	○	○	○	○	×	○

共通番号制度(マイナンバー制度)に対する危惧

○平成27年度葛飾区一般会計補正予算(第1号)

○葛飾区個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

補正予算の議案には反対をしました。今回の補正予算には、消費税8%引き上げによる低所得者・子育て世帯への影響を緩和する為の措置として昨年度に引き続き、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金支給の予算、保育所設置・建て替えの工事費補助、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の一環として、多子世帯に商品券支給を行う予算等が計上されていました。

私の反対した理由は**共通番号制度(マイナンバー制度)についての予算が計上**されていたことです。10月から個人番号の通知が始まるとして、制度運用が目前に差し迫っています。共通番号制度については、日本年金機構の情報流出の問題もあったことから、本会議で質問しました。高いセキュリティーの導入、情報保護ルールの強化で防ぐと答弁ありました。しかし、漏洩の可能性は番号が載っているカードや書類の紛失、労働者の個人番号を預かっている企業からの漏洩、番号を扱う行政からの漏洩など、様々な可能性が考えられます。絶対に漏洩しないとは言いきれません。

また、国ではマイナンバーを銀行の預金口座へも適用する改正法案が衆院通過しています。2018年から適用としています。利用範囲を拡大する動きは、国家による国民の支持・監督、特定の国民の選別等に利用される可能性や、預金に課税をするのでは？等、国民にとっては様々な不安や懸念が残るものと考えます。制度導入自体にそれらを危惧する為、反対しました。葛飾区個人情報の保護に関する条例の条例改正も、共通番号制度に関わる内容が含まれていることから、同様の理由で反対をしました。

葛飾区特別区税条例等の改正案は、反対を表明しました。今年4月から増税となった軽自動車税率のグリーン化特例の導入・住宅ローン控除の適用期限の延長・ふるさと納税の税額控除の特例創設があります。それらに含め、旧3級品たばこ（わかば・エコー等）の特例税率の廃止をして、増税する内容があります。消費税増税後、低価格で人気になっていました。物価の上昇に賃金上昇は追い付かず、年金は下がり、嗜好品も安い物を求める庶民に、こういう増税のやり方は痛手となります。住宅ローン控除の適用期限延長にしても、実質賃金の低下に根本の問題があると思います。

請願 2件不採択

- ①「川内原発をはじめとする原発再稼働に反対し、原発ゼロ政策への転換に向けた意見書の提出」に関する請願書
- ②「国民的合意のないままに、安全保障関連法案の改正を行わないよう求める意見書」の提出を求める請願

請願 2件の賛否	自民	公明	共産	政鸞	民主	うめた	小林	みずま	村松
①	×	×	○	○	○	○	×	○	×
②	×	×	○	○	○	○	×	○	×

原発施策、安保法制についての請願 2件が提出されました。原発は 3.11 で安全神話は崩れ、原発自体も放射能漏れもコントロール不可能なものであることが実証されました。自治体、国民間の格差差別や被爆労働者を生む、人権問題でもあります。安保関連法案は言うまでもなく、廃案にするべきものと考えているので、両方の請願に採択主張をしましたが、2件とも採択主張が少数で、不採択でした。

「日本と原発」

日時 8月12日(水) 18:00 開場 18:30 開演

場所 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール

主催 福島を忘れない 「日本と原発」上映葛飾実行委員会

入場料 一般 1000円 学生(中学生以上)500円

(保護者同伴の小学生以下無料)